

6 特別支援学校

(1) 学校数

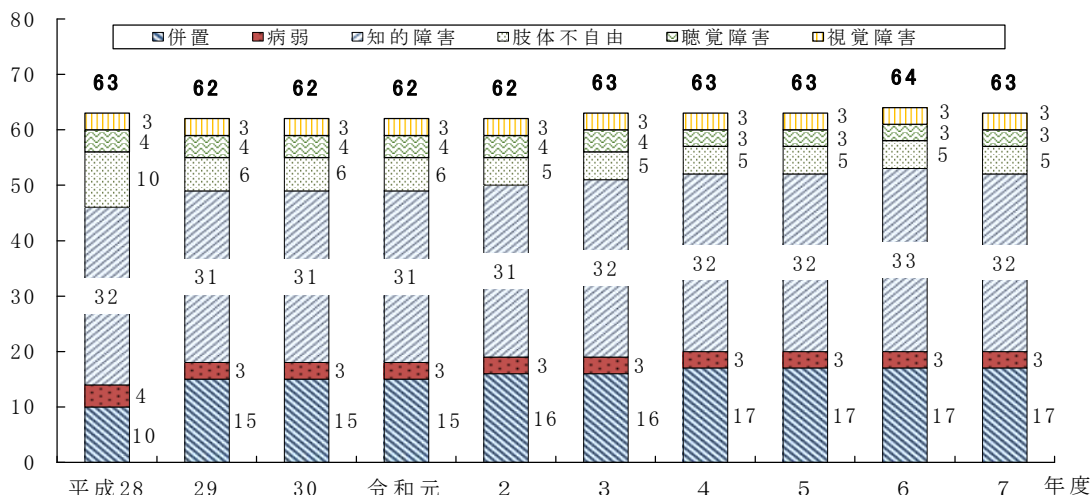
学校数は、63 校（都立 58 校、区立 5 校）で、前年度より 1 校減少している。

学校数のうち障害種別を複数設置している併置校は 17 校（肢体不自由・知的障害併置校 10 校、肢体不自由・病弱併置校 4 校、視覚障害・知的障害併置校 1 校、知的障害・病弱併置校 1 校、聴覚障害・知的障害併置校 1 校）となっている。

併置校以外の学校数を障害種別で見ると、視覚障害 3 校、聴覚障害 3 校、肢体不自由 5 校、知的障害 32 校、病弱 3 校となっている。

（Ⅲ統計表 第 31 表）

図 27 学校数の推移



注 1) 区立 5 校の障害種別は、肢体不自由 1 校、知的障害 1 校、病弱 3 校となっている。

2) 併置校は全て都立である。

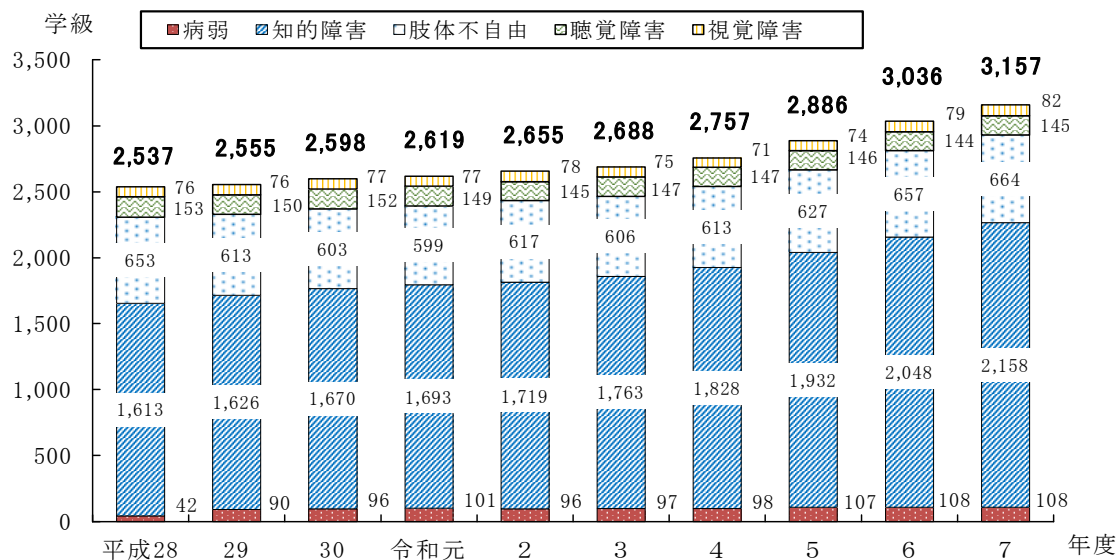
(2) 学級数

学級数は 3,157 学級で、前年度より 121 学級増加している。

障害種別で見ると、視覚障害 82 学級、聴覚障害 145 学級、肢体不自由 664 学級（都立 648 学級、区立 16 学級）、知的障害 2,158 学級（都立 2,117 学級、区立 41 学級）、病弱 108 学級（都立 92 学級、区立 16 学級）となっている。

（Ⅲ統計表 第 31 表）

図 28 学級数の推移



(3) 在学者数

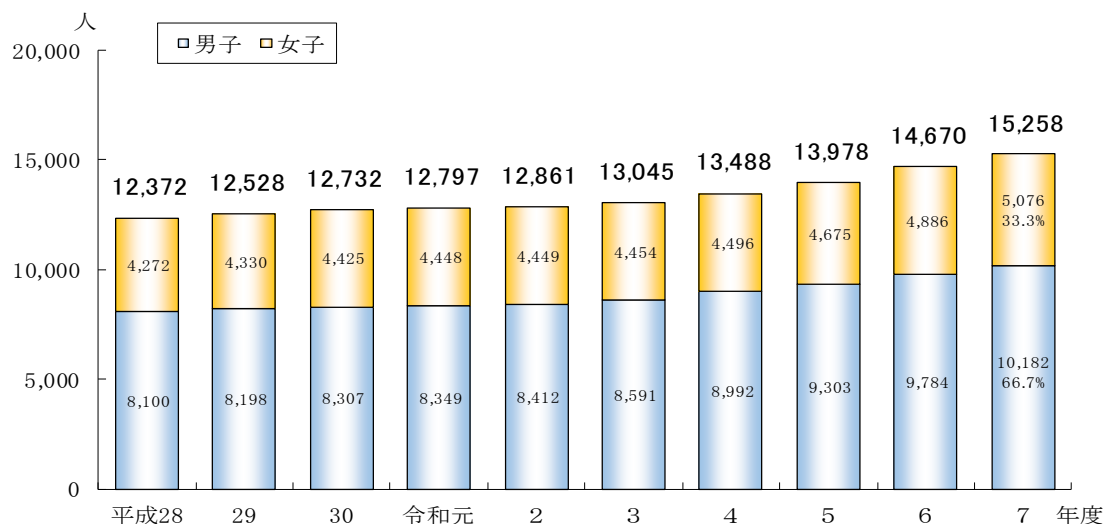
在学者数は15,258人で、前年度より588人増加している。

障害種別で見ると、視覚障害191人、聴覚障害599人、肢体不自由2,151人（都立2,105人、区立46人）、知的障害12,116人（都立11,917人、区立199人）、病弱201人（都立145人、区立56人）となっている。

男女別で見ると、男子10,182人（構成比66.7%）、女子5,076人（構成比33.3%）で、前年度と比べて、男子の構成比も女子の構成比も同数となっている。

（Ⅲ統計表 第31表）

図29 在学者数及び男女別割合の推移



(4) 教員数

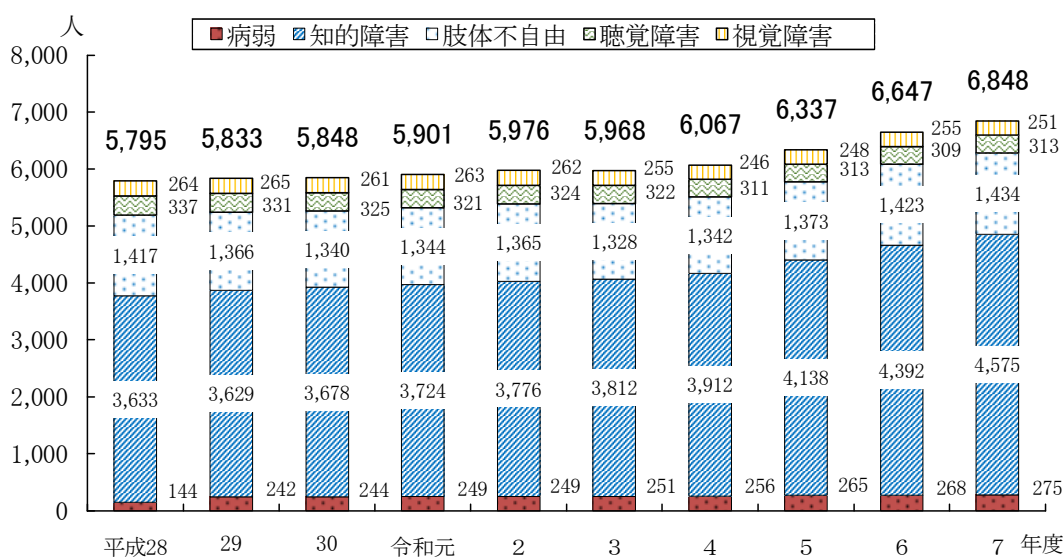
教員数は、6,848人で、前年度より201人増加している。

障害種別で見ると、視覚障害251人、聴覚障害313人、肢体不自由1,434人（都立1,396人、区立38人）、知的障害4,575人（都立4,500人、区立75人）、病弱275人（都立208人、区立67人）となっている。

男女別で見ると、男性2,757人（構成比40.3%）、女性4,091人（構成比59.7%）で、前年度と比べて、男性の構成比が0.4ポイント増加、女性の構成比が0.4ポイント減少している。

（Ⅲ統計表 第32表）

図30 教員数の推移



注) 教員数は、臨時的任用教員を含む。

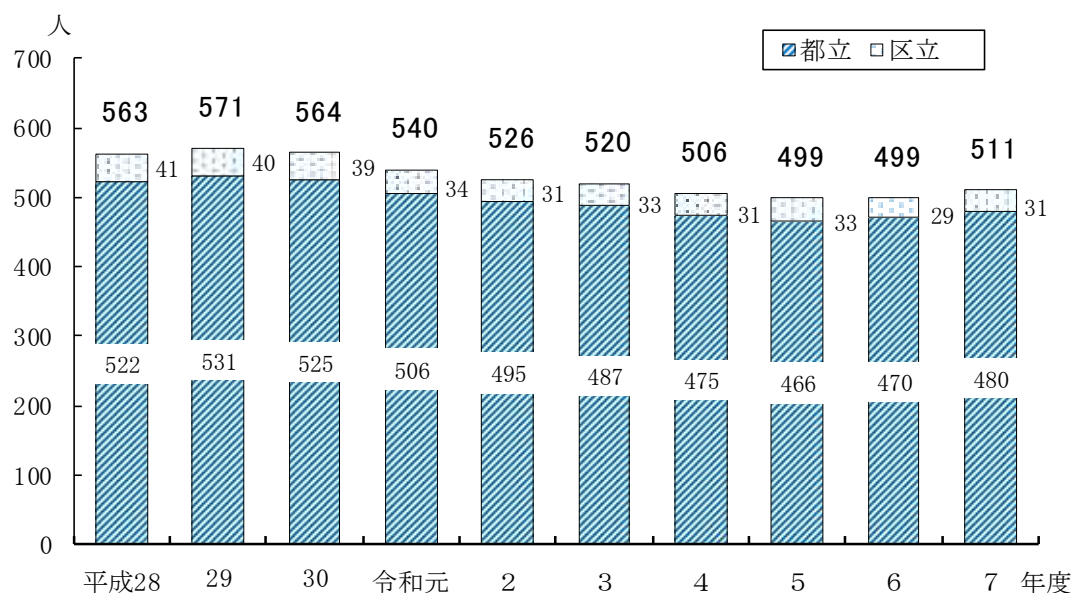
(5) 職員数

職員数は、511人（都立480人、区立31人）で、前年度より12人増加している。

男女別で見ると、男性205人（構成比40.1%）、女性306人（構成比59.9%）で、前年度と比べて、男性の構成比が2.8ポイント減少、女性の構成比が2.8ポイント増加している。

（Ⅲ統計表 第33表）

図31 職員数の推移



注) 職員数は、臨時的任用職員を含む。

図32 職員の職名別割合

